

第33回 共同実施事業管理委員会 東京都作業部会
議事要旨

日時：令和元年5月28日（火）15:45～17:15

会場：東京都庁第一本庁舎33階南側A-1会議室

1 開会

2 議事

(1) テストイベントに係る会場借上げ費用について

<説明・確認>

- ・事業の概要について組織委員会から説明。個別案件確認表について、組織委員会及び東京都からそれぞれ説明。
- ・「東京都が負担する経費の基本的な考え方」の4点に対応していることを確認。

<質疑、意見など>

- ・ゴールボールはホールCだけでなくホールAでも開催するのか。
⇒一つのホールはウォームアップ用として使用する。本大会においても同様である。

(2) オーバーレイブック更新等業務委託について

<説明・確認>

- ・事業の概要について組織委員会から説明。個別案件確認表について、組織委員会及び東京都からそれぞれ説明。
- ・「東京都が負担する経費の基本的な考え方」の4点に対応していることを確認。

<質疑、意見など>

- ・オーバーレイ全体としてみても、V3の枠内に収まっているのか。
⇒収まっている。
- ・グループ7が最後か。資料4の「各会場の発注グルーピング」に記載のない会場はどのように扱うのか。
⇒グループ7が最後である。表に記載のない国際フォーラム、馬事公苑、伊豆ベロドロームのオーバーレイブックの更新等については、工事監理等業務に含めて委託している。
- ・合計が43会場にならないのはなぜか。
⇒伊豆の2会場を1会場としている。

(3) 開会式及び閉会式制作等業務委託について

<説明・確認>

- ・事業の概要について組織委員会から説明。個別案件確認表について、組織委員会及び東京都からそれぞれ説明。
- ・「東京都が負担する経費の基本的な考え方」の4点に対応していることを確認。

<質疑、意見など>

- ・開閉会式は、内容などに厳格な管理が求められるため管理や精査が困難であるが、どのように進めるのか。
⇒全体の予算管理については、関係者と情報共有をしていく必要があると認識。役割分担については、引き続き議論が必要。
- ・増額した39億円と残りの91億円の負担はどう考えているのか。
⇒引き続き議論が必要。これから準備や協議を進める中で、最終的に確定させる。
- ・130億円は上限ということだが、中身を積み上げたときの感触として、組織委員会としてはどのように考えているのか。
⇒91億円は立候補ファイルに記載の予算額である。他の大会と遜色のない内容で実施する場合、演出企画の骨子に基づく概算上130億円は必要な額と考える。
- ・検討するにあたって、130億円が適正な規模であることをどのように判断したのか。
⇒過去大会の例と比較し上限として設定した。直近の平昌大会が120億円超。同程度の演出を念頭に置きながら130億円としている。なお、2012年ロンドン大会の160億円や2024年パリ大会の予算の148億円と比較すると、抑えた金額で設定している。現時点で演出が決まっているわけではないが当然無駄の無いように予算を執行していく。
- ・事業者とはどのような契約形態をとるのか。
⇒現在、91億円を上限とした契約をしているが、今回承認いただいた後で、130億円を上限とした契約を締結する。
- ・130億円は上限である。満額使い切るのではなく、引き続き経費の精査をお願いする。

3 意見交換 特になし

4 閉会